

# つどい walker vol.2

第2回実行委員会 in 東京 2012/3/24~26

お集まりの紳士淑女の皆様方、こんにちは。つどいwalkerがやって参りました。先日、右上の日程で第2回実行委員会、略して2実が行われました。2実の目標は大きく3つありまして、それぞれ「テーマ決定」、「つどい目標議論開始」、「講演やFWでの学びと実践を地元の活動につなげる」でした。これらが2実にてどのように組み上げられていったか、その経緯を追っていきます。

## 1日目

《学習講演：安齋育郎先生（立命館大学 名誉教授）》



「福島原発事故が私たちに求めるもの」として講演を行っていただきました。安齋先生は事故発生以前から原発に対する危険性を説き続け、今回は専門家の立場から原発事故における放射線の影響、実地で行われている対策などを聞かせていただきました。福島に住み、暮らしを続けていく方々を思った「産地で恐れず、過度に恐れず～」という言葉が印象的でした。

手品が非常に得意な先生でもあり、手品における「騙しのテクニック」を現実の諸問題と絡め、一面だけでない多面的なものの見方の大切さを語っていただきました。手品だったら騙されるのもいいのですが…。

## 2日目

### 《大田病院にて、地域のお母さん方の話》

皆さんが放射線による影響、特に子どもの健康状態を気にかけておられ、そこに付随して生じる様々な問題として、次のようなことを語っていただきました、「子どもに対する安全意識に母親間や夫婦間でも差異、軋轢がある。食や水の安全性が気になる。公表されている情報の信ぴょう性はどうか」。そして、将来医師になる私たちに向けて、「お医者さんは最後の頼みの綱、訴える人の言葉に耳を傾ける、寄り添う気持ちをもってほしい」とメッセージをくださいました。御自身としても過敏であることは意識しつつも、それでも子供のことを心配する母親の気持ちに溢れていました。

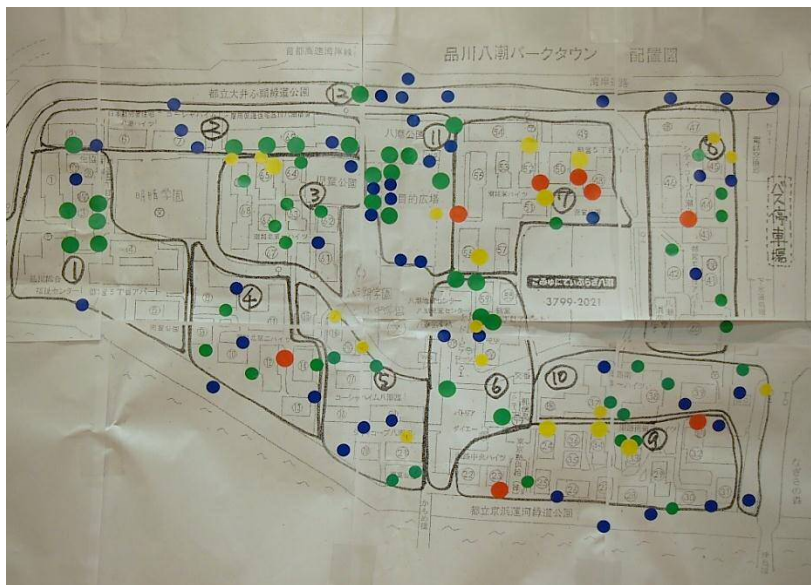
### 《FW》



線量計をもって大田区近郊の団地にて放射線測定を。前日まで雨が降っていたこともあり、水の溜まりやすい雨どいの下や、排水溝の辺りで高い線量を記録しました。測定中、団地の方々に様子を聞かれることも多く、地域の方々の関心が高いことも感じられました。FWは基本、外に出るものなので、やっぱり体を動かすのはイイですねえ。

その後、測定結果を元に線量マップを作製し、SGDではそれを元にして、一人ひとりが放射線の実感を感じ取りつつ考えを深めていきました。SGDの後、今年のとどのテーマ決め投票を行いました。

## ☆線量マップ



青が一番線量が低くて、それから緑、黄、赤の順に線量が高くなります。赤のところも結構ありますね…。

\* この赤印は「毎時  $0.25 \mu\text{Sv}$  以上」を示し、これは大田区における除染活動を要する数値、となっています

## 《交流会》

今回の交流会では実験的にワールドカフェというものをやりました。これは、一人のホスト役とそこに集うメンバー（旅人）とに分かれ、好きなことを好きなように話しあうというものです。また、事務局の佐藤（ペッペ）君が作製したスライドが好評でした。「知らない人と気安く交流できる。あまり自分から会話に入れない人も入っていきやすい」ってことで、その効能をいかに発揮せしめたようです。やりましたぜ！



彼はこのスライド文字が表わすが如く、真っ白に燃え尽きたようです…。画像は、世紀末覇者拳王です。

### 3 日目

#### 《仕上げのSGD》

最初に昨日行ったテーマ投票の結果が開示されました。そして、今年をつどいのテーマは「**原発と医療**」に決定しました。他に、「TPP、医師の生き方、情報と信頼性と国家の在り方、戦争放棄と平和教育、高度医療の治療費」といったテーマ案があげられました。

今回の締めを飾るSGDでは、そのテーマを受けてどんなつどいにしていくか、またつどい目標はどんなのにするか、などを話し合いました。つどい全体を貫く目標として、目指す方向、羅針盤ともいえるものを…。この議論は次回にも続いていきます。

#### ◆ 「参加者の声」コーナー

- ◇ 自分の地域では、放射線の影響とはいってもあまり実感がわかなかったが、今回の経験を契機に地元でも線量測定を試みよう、と思った
- ◇ 初参加であり交流が馴染めず、部屋に戻りたくてもなかなか雰囲気に戻りくかった
- ◇ 投票とはいっても恣意的、誘導的ではないか。テーマについても、もうちょっと考える時間がほしかった
- ◇ チューターは疲れました…。でも、勉強にもなりました。

など、この他にもいろいろな意見がありました。ありがとうございます！

そこで提案ですが、皆さんも地元で放射線測定を試みませんか？いま、改めて自分たちの住んでいる地域がどのような状態にあるか知ってみるのもいいと思います。各々の地域の線量状態を知ることで、新たな視点が得られるかも…。

#### ◆ 最後に…大切なこと

今回のテーマは「原発と医療」の方向性で決まったのですが、一人ひとりの意見を大切にしよう、という不文律がありますので、他に挙げられた意見も何らかの形で生かしていきたいと思っています。

つどいは地元を持ち帰って議論して、また次に生かすもの。今まで繋がってきたものを活かし、さらに発展させていけるような、そんなつどいにいきましょう。



次回、第3回実行委員会は

**5月26, 27日**

**場所は 滋賀県、琵琶湖グランドホテルで！！**

**みんなに会えるのを楽しみにしています！！**